

地域の受入拠点の選定結果と実施内容

1. 本事業(公募)の趣旨

- ◆ユニバーサルツーリズム(以下UT)の普及・促進のためには、地方自治体、NPO等の幅広い関係者の協力の下、地域の受入体制を強化する取組が必要であり、観光庁では、今年度事業を通じ、受入拠点づくりに必要となる内容をマニュアルとして取りまとめる
- ◆そのマニュアル作成等のため、観光地においてUTの普及促進に向けた事業を実施し、かつ、観光庁の調査事業に協力する組織を募集する

(1) UTに関する取組が初期段階にある地域の組織

【例】UTに係る取組に注力しているが、地方公共団体や宿泊業者との連携体制が構築されていない等、受入体制が未整備である地域のNPO 等

(2) UTに関する取組が発展段階にある地域の組織

【例】UTの受入実績があり、今後さらなる取組の強化により受入の増加が見込まれる地域のNPO 等

<第1回検討会(9/18)以降の取組み>

- ・公募期間 : 9月20日(金)～10月8日(火)17時
- ・選定委員会 : 10月16日(水)
- ・選定結果公表 : 10月25日(金)

2. 公募および選定結果

◆公募期間中、12組織から応募書を受領

・NPO：7組織　・一般社団法人：3組織　・宿泊施設：1組織　・旅行事業者：1組織

◆応募書をもとに、選定委員会における審査を実施

・アドバイザーからの意見を参考に選定委員(4名)により審査

－審査基準：①事業趣旨への適合性、②具体性および計画性、③実施体制、④持続性

◆選定委員会による審査の結果、以下の3組織を選定

<選定組織>

(1) UTに関する取組が初期段階にある地域の組織

① NPO法人 いわき自立生活センター(福島県いわき市)

② NPO法人 チャレンジド就労支援ネットワークeワーカーズ鹿児島
(鹿児島県霧島市)

(2) UTに関する取組が発展段階にある地域の組織

③ NPO法人 石川バリアフリーツアーセンター(石川県金沢市)

3. 選定組織の概要

団体名	①NPO法人 いわき自立生活センター	②NPO法人 チャレンジド就労支援ネットワークeワーカーズ鹿児島	③NPO法人 石川バリアフリーツアーセンター
代表者名	理事長 長谷川秀雄	理事長 紙屋 久美子	理事長 坂井 さゆり
所在地	福島県いわき市	鹿児島県霧島市	石川県金沢市
活動地域	福島県内	鹿児島県内	石川県全域
設立年月	2001年4月	2007年7月	2013年5月
職員数	有給専従:48人 有給非専従:22人	5人	2人(常勤1、パート1)
団体の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの提供を通し、障害者の自立と社会参加を促進 ・障害が重くても地域で市民生活が送れるノーマライゼーション社会の実現を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ITの普及、利活用支援・ITを活用しての自立・就労支援を行うことにより、障害者や高齢者に関わらずあらゆる人が共に住み、共に仕事ができるような社会づくりに寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の障害者や高齢者、妊婦など障害(バリア)を抱えた人たちへの石川県の観光案内窓口として、障害者、高齢者の方が安心して旅行できるようにサポート
主な活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者への自立生活プログラム ・当事者によるピアカウンセリング ・障害車、高齢者へのヘルパー派遣事業 ・要介護高齢者のケアプラン作成 ・多機能型事業所(通所)の運営 ・3.11被災者の支援 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者及び高齢者の情報化技術の推進事業(パソコン講習会・パソコン教室の運営) ・障害者及び高齢者就労支援事業 ・障害者理解のための壁無(かべなし)交流会の開催 ・BF観光推進事業(県の補助事業として実施) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルBF基準にもとづく、BF調査およびその情報発信 ・障害者の旅行受入や接遇に関する各種研修や啓発事業 ・全国のBFツアーセンターとのネットワークづくり、情報交換及び事業の交流・連携 等

4. 選定組織の取組み概要

①いわき自立生活センター

【取組概要】

(1) UT受入可能な公共交通機関・観光施設・宿泊施設の調査

・鉄道駅(5駅)、旅館・ホテル(約40施設)、観光施設(約20施設)を対象にBF調査を実施

(2) 専用HP、冊子による調査結果の公開

(3) UT先進地の視察

・神戸、京都等、先進地を視察し実施体制や事業展開に向けた知見を得るとともに先進地とのつながりづくり

【協議会】

・学識経験者(まちづくり系)、観光まちづくりビューロー、障害者団体、自治体(いわき市商工観光部)、東北運輸局(オブザーバ)等

【アドバイザー】

・鞍本 長利氏(神戸ユニバーサルツーリズムセンター代表)

4. 選定組織の取組み概要

② チャレンジド就労支援ネットワークeワーカーズ鹿児島

【取組概要】

(1) 受入体制(相談センター)整備のための研修

- ・【スタッフ研修】相談窓口担当予定スタッフ数名で先行地域(伊勢志摩BFTC)にて研修
- ・【調査員研修】調査に携わるスタッフ向けに調査必要性や調査手法を研修(伊勢志摩BFTCより講師派遣)

(2) 施設調査

- ・県内の離島含む広域でモデルコース(6コース程度)を設定しそのコース上施設を調査実施(50施設程度)

(3) 勉強会開催

- ・宿泊、観光、行政等の観光関係者を対象に「おもてなし研修」を開催(県内2地域、定員各20名程度を想定)

(4) 情報提供

- ・調査をしたモデルコースをホームページ、情報誌で一般に公開

【協議会】

- ・県観光課、地域振興局、県旅行業協同組合、県福祉輸送連絡協議会、県観光連盟 等

【アドバイザー】

- ・中村元氏(伊勢志摩バリアフリーツアーセンター理事長)

【その他】

- ・地域(市町村等)については、別途担当者会議により協働

第1回協議会の様子(11/14開催)



4. 選定組織の取組み概要

③石川バリアフリースツアーセンター

【取組概要】

- (1)バリアフリー観光セミナーの開催
 - ・宿泊、交通等の観光関係者、行政担当者を対象に実施(能登地区等にて計2回開催、40～50名程度想定)
- (2)施設のバリアフリー調査促進
 - ・能登地区を中心に宿泊施設、公共施設、空港等を対象に調査を実施(50施設程度)
- (3)バリアフリー情報の整理・発信
 - ・調査結果をホームページにて一般向けに発信
- (4)バリアフリー観光アテンダントの育成
 - ・高齢者、障がい者の観光をサポートする、「観光アテンダント」を育成(伊勢志摩・沖縄等の視察、石川でのノウハウ共有等)

【協議会】

- ・観光施設、宿泊施設、交通事業者(鉄道、バス)、高齢者・障害者団体、行政(県の観光・福祉部局)等

【アドバイザー】

- ・中村元氏(伊勢志摩バリアフリースツアーセンター理事長)
- ・親川修氏(バリアフリーネットワーク会議代表)

【その他】

- ・今年度、金沢市の事業において、文化施設のバリアフリー調査を委託実施

4. 選定組織の取組み概要

◆モニターツアーの実施概要(暫定版)

団体名	①NPO法人 いわき自立生活センター	②NPO法人 チャレンジド就労支援ネットワークeワーカーズ鹿児島	③NPO法人 石川バリアフリーツアーセンター
実施日	2014年1月中旬(予定)	2014年1月中旬(予定)	2014年1月中旬(予定)
参加人数	10名程度	10名程度	5名程度
実施方法	クラブツーリズム(株) ⇒クラブツーリズム会員への募集	(株)エイチ・アイ・エス ⇒HIS会員誌、ウェブサイトを活用して告知	地域のネットワークを通じて募集
行程案	・福島県内の観光名所をまわる 【1泊2日コース】 (湯本温泉、いわき市内の観光施設等を想定)	・鹿児島県内の観光名所をまわる 【1泊2日コース】 (指宿地域の観光施設等を想定)	・能登地域の観光名所をまわる 【1泊2日コース】 (のとじま水族館、能登空港、七尾フィッシャーマンズ・ワーフ等を想定)

5. 今後の進め方

- ◆事務局にて各選定組織との打合せを実施済
- ◆アドバイザーの支援のもと、各選定組織・事務局間で密に連携し、事業を遂行(工期:1月末日)
- ◆検討会に合わせた各選定組織からの事業報告
- ◆今年度事業を通じ、受入拠点づくりに必要となる内容をマニュアルとして取りまとめ